

宗教改革と美術

ボン大学教授

アンヌ・マリイ・ボネ



ボン大学教授(美術史家/アートキュレーター/美術評論家)。ボン大学でルネサンスから近・現代美術史の講座を担当。アートキュレーター、美術評論家としても幅広く活動している。美術史の歴史および方法論、ミュージオロジー、アート界の構造全体に関心がある。近年の主な研究業績は「デューラー、ヌードの発見」(ミュンヘン、2014年)、「ルネサンスの画家 クラナハ」(ミュンヘン、2015年) ほか多数。

宗教改革が興った十五世紀から十六世紀への移行の時代は、商業に関わる市民階級の影響力の増大、商業の国際化、都市化と世俗化の増加など、とりわけさまざまな精神動向と社会的経済的な変革が勃興した、「加速された変革の時代」の中で興った出来事である。

一四五〇年頃、新しい印刷術が発明されると、新しいメディアによる大衆媒体が誕生し、新しいタイプの絵画が現れ、絵画制作の新しい契機や要因が成立。絵画は一層、自由に流通

されるようになった。本格的な「美術商」が新しい販売方法を携え、新たな担い手(商人、代理人、仲介人)と商いの場(巡礼の旅、見本市、定期市)が生まれた。同時に、これまで職人だった絵描きは、芸術家として見合う地位を得るようになった。マルティン・ルターとルーカス・クラナハはこの時代の典型的な代表者であり、新たな大改革に寄与した人物たちである。クラナハは一五〇五年にフリードリヒ賢明公の宮廷画家としてウィーンからヴィッテンベルクに移り、この地で五十年近くの間在職し続けた。

クラナハのもっとも大胆でもっともアヴァンギャルドな作品は、一五〇九年に描かれた、等身大の『ヴィーナス』である。クラナハと同時代に生きた画家アルブレヒト・デューラーは、その一年前に等身大のアダムとイヴの裸体像を描いているが、クラナハはそれにこの作品をもって応答する形で神話に基づく主題を、まったくのイタリヤ・ルネサンス的な意味において描き出した。クラナハは『キリスト受難像』のような、宗教的なシリーズの他に、領邦国家の君主達の肖像画を数多く

制作。ヴィッテンベルクの宮廷画家として、地位を築き上げた。ヴィッテンベルクに大規模な工房を建設し、そこで全ての注文に応じる体制をとった。その後、ヴィッテンベルクの富裕市民として、自らの権力と事業展開の範囲とを押し広げていったのである。

ルターとクラナハがいつ出会ったのかは明らかになっていないが、一五二〇年の『アウグスティヌス会修道士としてのルター』が、クラナハによって描かれた最初の肖像画であることが確認されている。この肖像画では危険な状態にあったアウグスティヌス会修道士のルターがかたくなで意志強く、内省的な人物として描き出されている。しかし、その後描かれた『ニッチの前に立つアウグスティヌス会修道士としてのルター』は、柔和な、人との対話を促すような表現で表されている。その後もクラナハはルターを聖職者、説教士、戦うもの、魂の慰めどころ、学者および結婚した夫など、多種多様に描写し、ルターの性格と役割の描写をタイプ別に発展させていった。このクラナハの多様性こそが、ルターの宣伝マネージャーのようにルターの公式の「イメージ」を作り上げ、それを世間に刻み込むことを可能としたのである。これらの絵画は社会の時事的な対立状況において公衆に対する情報提供ないし情報操作の手段として利用された。イメージのアイデアはルター自身やクラナハの手によるもののみでなく、他の同調者

ならびに敵対者からも生み出されていった。

ルターが旧教カトリックにおける絵画との関わりを批判的に捉えていたこともあり、クラナハはそれまで、プロテスタントの象徴する絵画を創作してこなかった。しかし、宗教の新しい見解である「プロテスタントイズム」のために新しい絵画、イコノグラフィが誕生すると、クラナハはようやくプロテスタントのテーマを強調して扱った油彩画を描き始める。一五二九年以降、つまり宗教改革が徐々に確立していくに伴って初めて、描き始めたのである。『律法と恩寵』と名付けられた作品は、クラナハがおそらくルターらの協力のもと、一五二〇年代の終わりに発展させた寓意の表現、いわゆる信仰義認の教えをポスター風に印象深く示している。

宗教改革の信条表明たるもう一つの新しい絵画として代表するのは、子どもたちの祝福を描いた板絵『子どもたちを私のもとへ来させなさい』。神の恩寵を通して救済を見出す前提条件として、子どもらしい純真な信仰を挙げていたルターの確信がこのような主題を導いたのだろう。

そして、多種多様な観点における新しいルター派芸術のフィナーレとして、『ヴァイマルの祭壇画』(1537)では、ついにクラナハとルターが祭壇画のメインパネルに登場。洗礼者ヨハネと同じ段上に配され、彼らはその聖人と同様に仲介者として表現されたのである。